

第 39 回 エクソンモービル音楽賞 洋楽部門奨励賞

趙 静 (ちょう ちん)

チェロ

株式会社ジャパン・アーツ 気付
〒150-8905 東京都渋谷区渋谷 2-1-6
Tel: 03-3499-8090 / Fax: 03-3499-8092
<http://www.japanarts.co.jp/>

◆ 贈賞理由 ◆

趙静氏は、東京音楽大学、ベルリンのカラヤン・アカデミーおよびハンス・アイスラー音楽院を卒業後、ベルリンを拠点にヨーロッパや日本でソロや室内楽に注目すべき活動を展開する若手チェリストである。彼女の演奏は、並外れたスケールの大きさや快刀乱麻を断つような切れ味のよい技巧、そこから放射される熱気や感動の豊かさという点で際立っている。めったに一位を出さないミュンヘンのARD国際コンクールが、彼女に一位を与えたのもいわば当然の結果だろう。中国に生を受けた逸材が、16歳からわが国で教育を受け、素晴らしいアーティストに成長したことは、日本の音楽界にとっても大きな誇りである。今後の世界第一線における一層の飛躍と活躍を期待して洋楽部門奨励賞を贈賞する。

(音楽賞洋楽部門 選考委員会)

◆ 略歴 ◆

北京生まれ。東京音楽大学附属高校に留学生特別奨学生として入学し、東京音楽大学、ベルリンのカラヤン・アカデミーおよびハンス・アイスラー音楽院を卒業。これまでに宋濤、堀了介、ゲオルグ・ファウスト、マリオ・ブルネロ、ダヴィド・ゲリンガスに師事。リッカルド・ムーティ、チョン・ミュンフン、ジャン・フルネ、小澤征爾をはじめとする著名指揮者、ヨーロッパの主要オーケストラや、NHK交響楽団ほか日本全国のオーケストラと共演。天性の音楽性に恵まれた国際的な逸材。2005年、難関で知られるミュンヘンARD国際コンクールで優勝し、世界の注目を集める。2007年1月には日韓中友好特別記念「友情の架け橋コンサート 2007」でチョン・ミュンフンや榎本大進などとともに皇太子徳仁親王殿下との室内楽演奏会のメンバーに選ばれている。現在使用している楽器は、シンガポールの林哲明 (Mr. Lin Kim Min) から貸与されている1690年製 Giovanni Grancino。

◆ 主な受賞歴 ◆

1996年 第2回全日本ビバホールチェロコンクール1位
2005年 第54回ミュンヘンARD国際コンクールチェロ部門1位および「聴衆賞」と「新作の優れた解釈に与えられる賞」